

# こすど 公民館報

小須戸町公民館 知日円所  
 野良 15 刷所  
 月部 15 印  
 毎部 1 堂  
 行日 昭  
 所 昭

## 秋の中心行事

### 第二十九回文化祭

各会場でニギヤカに

第二十九回小須戸町文化祭は、来る十月三日、四日の両日第一会場（小須戸小）、第二会場（小須戸中）、第三会場（公民館）、第四会場（商工会）で開催されます。第一日（三日）は恒例の県下柔剣道大会を開きます。

この会場は、町民体育館に柔道の部、小須戸小体育館で剣道の部を開きます。今年度で十九回を迎えて、十月三日小須戸大会に参加しようといふことが固定化して、参加団体も年々増加しています。

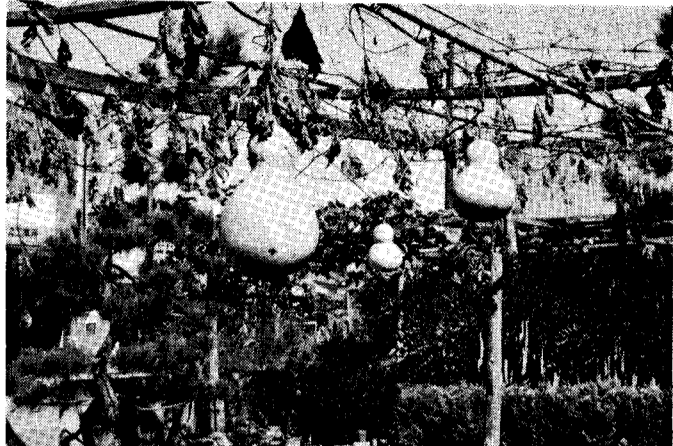
また「花とみどり」を育てる会など、小須戸町園芸クラブを中心とした

青年団、青年学級の出し

ものにも、私たち文化祭を見るものが「今年は何をだすのだろうか、どんなことをするのだろうか？」楽しみにしております。町の写真愛好者が中心となつて、今年一年間の作品を展示し、仲間を増やすことも大切だと思つし、盛大な写真展にしたものです。



青年団、青年学級の出し



風のいたづらに  
 ふくへはおどる  
 秋陽にゆらゆらゆらり  
 軒のひょうたんだれの作  
 ひょうたんなますの  
 うぶ毛も失せて  
 秋陽にからからからり  
 軒のひょうたん何のこま

### ひょうたん

いまい ゆうすけ

は充分考へて、また会場内にガム、アメ玉の紙くずを、ちらかさないようになつて、楽しみにしております。楽しんでほしいです。

### 足跡の感慨

小須戸町民謡保存協会 高橋 キヨ

体育館の灯りが一つ一つ消えて、先刻までの熱気が、初秋の夜風に吸い寄せられるように去つて行く。

八月二十一日には新潟県の大民謡流しに初めて参加した。総勢五〇余名、藤井顧問のプログラドを先頭に、延々と行列を作り、「小須戸はきれいだ」「私達小須戸の生まれです。頑張つて下さい」との声を援けに、さか

八月二十四日小須戸祭り、八月二十四日小須戸祭りの前夜祭、役員達の力を惜しまない努力で、立て派な舞台もできた。初めて町長さんのご挨拶により、開会式、一同感激して一層踊りに熱が加つたようである。先生の熱心な指導と、師の会のご協力、長寿大学民謡クラブのご協力を得、見事と賞賛された民謡流し

### 社会教育指導員の交代

今回社会教育指導員の浅岡嘉久吉先生が、中浦原郡社会福祉事務所へご転任になりました。長寿大学を中心にご熱意をもつてご指導いただいた実績は、皆さんがご承知の通りであります。厚く

### 退任のご挨拶

浅岡 嘉久吉



秋の色も濃くなってきました。私ごと、此のたび新津市四丁目の中浦原社会福祉事務所に勤務することになりました。

### 就任のごあいさつ

社会教育指導員 萱森 朝夫



このたび浅岡先生のご退任に伴い、その後任として、皆様のお手伝いをすることになりました。去る六月に教育委員としてご推挙いただいたばかりのことでもあり、いささか考えさせられました。空席のまま新しい年を迎えることでもできない事情もあることと、後任者を迎えるまでというので、お引き受けしたようなわけであります。このご交代、何分よろしくお祈り申し上げます。

お礼申し上げますと共に、今後の新しい道にご活躍のほどを、お祈りいたします。後任には萱森朝夫先生からご就任いただきまして、どうぞよろしくお祈りいたします。

い間のご厚情ほんとうに有難う存じました。これからの私の仕事は中浦原社会福祉事務所の家庭児童相談室で、中浦原郡内の子供の問題について困っておられるお方も悩んでおられるお方も相談に当たることになつております。

このように濁りの水利権をめぐって争ってきまして、天明五年五月廿日（二七八五）には遂に若宮湯、長戸呂湯、頭無湯の三つの濁りについて、一方は金津村、矢代田村、天ヶ沢新田、相手の一方は新保村、滝新田の各村民が出会い、濁りの境界について血を流した大論争が起きました。

### カダ 濁りの変遷 (四)

柏 大治

石川堰や四ツ野堰には洪水のたびに鮮血をみる水争いがありました。寛政十一年の出入内済証文などありますが、水争い問題は今日の新津郷土地改良区設立まで続き、話話が横にそれました。濁りが図面に明記されたのは、三代将軍家光時代の正保間（一六四四）からです。延宝年間（一六七三）と推定される図面には「鎌倉湯長三三十五間、横十九間、深四十五間、深二尺」の頭なし湯長六百四十間、深一尺、わがや湯長八十四間、深六尺、小須戸地内畑ヶ崎湯長百三十間、深八寸、深二尺五寸とあります。また京保三年（一七一八）小須戸組中湯之覚には鎌倉湯長二百十五間、横八十五間、深三尺、大日湯長百三十間、深四尺三寸、頭無湯長百六十間、深二尺八寸と、時若宮湯長二百四十間、横八十七間、深二尺八寸と、時代にによりこのように変遷がみられます。郡誌に正保図には濁りの「長三丈五寸、深五間、横三三三三三三、四」と記すれども其の後八十余年を経たる享保年間の見取図には復た濁池と認むべきものはなさに至りしは、其の懸架の如何に迅速なりしかを相見するに足れり」とあります。川口八丁堰、松岡堰、四ツ野野堰（梅ノ木堰）特に小須戸郷（現在の）では

生活をどのようなお考えのぞまれるか、また実践されておられるか、と伺うことは、大変大切なことと心おだやかで、しかも健康で暮らすにはどうしたらよいか、とか、孤独感を感じられること、排他感を感じられること、たんに高令者の問題は高令者だけのものではなく、やがて後に続く若年、青年の問題も持っていた方がいいです。

